

4392 地球のかおり：「宇宙石」（産経新聞）心模様

2010年8月、日本は、猛暑。
南半球、ニュージーランド南島を訪ねた。
マウントクックは、雪景色。
目撃するまで、信じられなかった。

私の地球紀行ひとり旅の基本は、先入観を持たない旅。
ものに気づくのは、知識でなく、感性や心、
まだ見ぬ、見えないものを見る。
地球の不思議、百聞は一見にしかず。
しかし、想像の世界も、面白い。

いつもの、道草が始まった。
南島、最南端、ランドエンドまで、行く道中だった。
海岸線と平行して、道路がある。ところどころで、海が見える。
いささか、疲れもあったので、休憩をとることにした時、素敵なお店との遭遇。
ベランダで、コーヒーを飲みながら、
海を見つめていた。海の向こうは、南極大陸。
訪ねた体験はない。想像をめぐらすひと時。

そして、気づいた、初めて目にする形状の自然石。
遠い島から、流れ着いた、ヤシの実、一つ・・・という歌詞が、脳裏に。
地球の、いろいろな場所を、訪ねる機会があったので、
まだ見ぬ光景、未知との遭遇や、不思議発見は、いろいろ体験。

遊び心。裸足になって、海岸線の探訪が、始まった。砂にも、岩にも触れた。
この丸い石。一つや二つではない。
地球の不思議。想像が広がる。触れるだけでなく、耳でも聞く。

日本、宮崎県の洗濯板のような、石の海岸線。

アイルランドの多角形の石群。

鋭角のイタリア・アルプス、地球の形状には、驚かされることが多い。

アメリカ西部でも・・・

どこから、どうして、想定外の想定外。

海から、流れてきたとも思えない。古代から、この場所にあったのか、

誰かが運んだのか、それも妥当ではない。

とにかく、面白い。人間にわからないことが、この世には、いっぱいある。

石は動かず、何も話さない。「宇宙石」と名付けた。

余談だが、こうした、4大陸をひとり旅しているので、

地球上の不思議には、数多く、お目にかかっている。

話の道草になるが、ニュージーランドは、昔も今も、イギリスと関係が深い。

今もイギリス、シェフィールドに住む、学生時代の友人のサポートで、

イングランドを、1ヶ月ひとり旅を、したことがある。

北方、スコットランドや、スカイ湖、怪獣ネッシーで話題になった、ネス湖まで。

その帰路、グラスゴーから南下。いい機会と、北アイルランド、

ベルファストを訪ねた。

そして、奇岩群、**ジャイアンツ・コーズウェイ**との出会い。

今、世界遺産。火山活動で生まれた4万もの石柱群が、2キロほど、連なる地域。

画像記録もしている。自然は、大芸術家。

いつの日か、ご紹介したいと思っているが、まだまだ、優先事項がある。

人生、いつ、「まさか」があるか、わからない。

できるときに、できることを、健康最優先。日々の我慢。実践に四苦八苦。

なかなか、思い通りには行かないが、今に、全力投球。